

新潟県佐渡島二次交通の取り組み ～島しょ部の二次交通取り組み事例～

POINT

- ・ 佐渡島の観光資源アクセスへの交通手段の確保について
- ・ 佐渡島内公共交通を利用した観光用乗車券について
- ・ 佐渡観光の現状と二次交通開発の取り組み

新潟県の島しょ部である佐渡島は、新潟港の北西約44kmにある。面積853.8km²で沖縄島に次ぐ。全島で佐渡市1市を構成する。標高1172mの金北(きんぱく)山を中心とし、南部になだらかな丘陵が連なる。国中(くになか)平野を挟んで北東側には両津(りょうつ)湾、南西側に真野(まの)湾がある。海岸には海食台が発達。平野での稲作と沿岸漁業が主な産業となっている。

中世の時代は順徳(じゅんとく)天皇や日蓮(にちれん)上人などが流された歴史がある。江戸時代になると佐渡金山を中心に繁栄してきた。

佐渡島内観光交通手段としては、鉄道路線が島内にないため、定期観光バス、タクシー、路線バスの利用となる。



佐渡観光地と路線バスルート

<取組の概要>

□佐渡島の観光資源アクセスの交通手段の確保について

佐渡汽船が着岸する両津港から、観光資源が数多く存する相川、真野地域までは、車で1時間ほどの移動時間を要する。鉄道路線のない佐渡では、路線バス等での移動が必要となる。もともと、生活路線であるバスは、病院などへの迂回コース等、時間を要することと、本数が限られていることがネックとなっている。

また、タクシーも、生活の重要な足となっており、市民が病院等へ移動する午前中の時間帯は、予約が取りにくい状態となっている。

観光客の路線バス利用の利便性を高めるために、観光施設に停車したり、フリー乗車券の発行を行っている。

□公共機関観光用乗車券について

① 佐渡島内バスフリー乗車券

期間限定※平成30年度は、4/1～11/30 土日祝日運行

販売価格：1日間 大人1,500円、子ども750円

2日間 大人2,500円 子ども1,250円

3日間 大人3,000円 子ども1,500円

運営：佐渡地域公共交通活性化協議会

新潟交通佐渡（株） （一社）佐渡観光協会

特徴：佐渡島対象。フリーパスの優待は、食事や買い物、入館料や体験料に使える。

② 相川観光循環バスフリーパス

期間限定 ※平成30年度は、4月28日～5月6日、7月21日～8月31日

販売価格：一日間 おとな500円 こども250円

ファミリーパス 1家族 1,000円

運営：佐渡市産業観光部観光振興課 新潟交通佐渡（株）

特徴：周遊路線内の指定のお店や施設での割引

まち歩きガイド（金山コース 2時間 2,500円）



尖閣湾の岩礁



海中透視舟

3. 観光二次交通事業

観光施設へ延伸・迂回し、観光客等の利便性向上を図る。
 運行期間：4月1日～11月30日【土・日・祝日運行】

(人)

路線	施設名	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	計
本線	佐渡金山 (平日)	延	65	116	144	116	349	141	102	105	1,138
	佐渡金山 (休日)	延	9	24	△ 38	50	30	2	△ 3	30	104
	佐渡金山 (平日)	延	138	433	147	228	379	243	179	128	1,875
南線	トキの森公園 (平日)	延	△ 6	279	54	6	5	△ 27	△ 138	82	255
	トキの森公園 (休日)	延	114	271	198	206	639	306	233	93	2,060
	トキの森公園 (平日)	延	3	△ 34	△ 42	△ 4	△ 59	49	△ 23	△ 11	△ 121
	トキの森公園 (休日)	延	199	675	183	276	451	255	228	135	2,402
	歴史伝説館	延	△ 24	315	10	27	△ 98	△ 70	27	35	222
小木線	歴史伝説館	延	109	207	86	118	168	102	88	61	939
	歴史伝説館	延	△ 24	76	30	18	△ 14	2	△ 37	4	55
	歴史伝説館	延	75	166	66	80	149	66	52	52	706
	歴史伝説館	延	3	55	3	12	△ 23	△ 5	△ 34	5	16
小線	ゴールパーク	延	18	119	19	54	168	48	20	21	467
	ゴールパーク	延	△ 43	33	5	△ 5	0	2	△ 25	4	△ 29
合計 (施設別合計)			926	2,411	1,064	1,415	2,680	1,395	1,182	740	11,813
合計 (施設別合計)			△ 53	842	41	126	△ 105	△ 68	△ 243	122	662

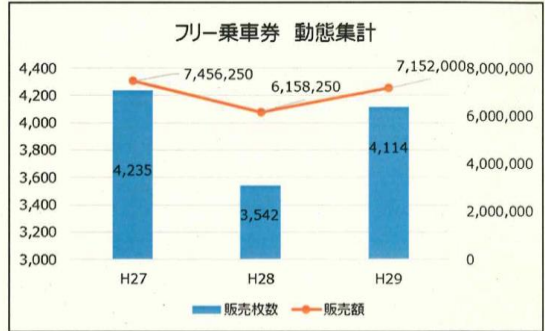


各観光施設入込客数に占める割合は少ないため、一層の利用促進に取り組む。

参考

◆路線バスフリー乗車券販売実績

券種	H27	H28	H29	H29-H28
1日券	3,259	2,830	3,170	340
	大人 3,180 小人 79	大人 2,778 小人 52	大人 3,091 小人 79	大人 313 小人 27
2日券	755	523	643	120
	大人 732 小人 23	大人 511 小人 12	大人 626 小人 17	大人 115 小人 5
3日券	221	189	301	112
	大人 218 小人 3	大人 188 小人 1	大人 279 小人 22	大人 91 小人 21
計	4,235	3,542	4,114	572
	大人 4,130 小人 105	大人 3,477 小人 65	大人 3,996 小人 118	大人 519 小人 53



※平成29年度から全ての券種を路線バス車内で販売を開始

□佐渡観光の現状と二次交通開発の取り組み

佐渡は、高速道路、新幹線が整備されたピーク時代には、年間佐渡汽船が300万人の輸送人員があったが、平成28年度は、約150万人と半減している。これは、佐渡の年平均1,000名の人口減と観光客減によるもので、特に団体旅行に依存していた佐渡観光は、旅行の個人化とともに、減少している。

個人客対応ということになると、佐渡汽船で両津港に到着した後の交通手段の確保が必須であり、現状路線バス、タクシー、定期観光バス、レンタサイクルの選択肢があるが、便数など制約もあり課題となっている。

また、新潟から佐渡へは、現状では、佐渡汽船が唯一の交通手段であり、佐渡空港のジェット機対応のための滑走路の2,000mの延伸、開港への働きかけの活動が行われている。試験的に、両津港、新潟空港間に送迎車の運行が行われている。

今後は、佐渡の観光資源のアピールとともに、交通インフラの整備、交通情報の提供は、観光客数増のための鍵となってくるだろう。